

可決



特別会計44億2,650万円

令和2年
第1回
芳賀町議会
定例会

令和2年度の予算総額は145億2650万円、前年度に比べ12億3440万円の増となりました。一般会計歳入歳出の総額は101億円で、前年度に比べ13億5千万円の増、特定の事業を行うために一般会計と区別して経理される特別会計歳入歳出の予算総額は、44億2650万円で、前年度に比べ1億1560万円の減となりました。

歳入の根幹をなす町税は、国の税制改正による法人町民税の減収、新設される法人事業税交付金および地方消費税交付金については増収を見込みました。歳出は、LRT整備事業を本格的に進めるために24億2977万円の事業費を計上しました。また、祖母井中央地区整備、芳賀第2工業団地整備、町道三日市芳賀第2工業団地線道路改良についても事業の早期完了を目指します。そして、将来を見据えた「まちづくり」の計画的かつ効果的な推進、町民生活の「安全安心」を高める取り組みの確実な推進、「子育て支援」のさらなる充実を掲げました。

定例会の概要

令和2年第1回芳賀町議会定例会が3月3日から16日までの14日間の会期で開催されました。第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明を受け、同意案を可決しました。一般質問は第1日目の3月3日、3日目の3月5日に行われ、5人の議員が町政について質問しました。第4日目に令和2年度予算を除く議案の質疑・討論・採決を行いました。第7日目に令和2年度予算の質疑を行った後、予算の審査を常任委員会に付託しました。最終日に令和2年度予算を原案どおり可決し、閉会しました。

躍動する芳賀の町 未来につなげよう

令和2年度各予算会計

会計名		予算額
一般会計		101億円
特別会計	国民健康保険	19億1,000万円
	後期高齢者医療	1億7,500万円
	介護保険（保険事業勘定）	14億9,250万円
	介護保険（介護サービス事業勘定）	400万円
	芳賀工業団地排水処理センター	5,280万円
	公共下水道事業	3億600万円
	農業集落排水事業	1億8,300万円
	宅地造成事業	3億320万円
合計	145億2,650万円	



令和2年度予算を

一般会計101億円

令和2年度の主な
5つの
つなげる
事業

便利

LRT整備費



24億2,977万円

県への道路改良工事委託料、污水管移設・軌道施設工事など

教育

学校ICT推進費



3,113万円

小中学校への電子黒板・指導者用デジタル教科書の配備など

話題

農業担い手育成支援費



5,335万円

産地パワーアップ事業費補助金(稲毛田梨団地)など

笑顔

妊娠出産支援費



2,445万円

産後育児の用品をまとめた「育児パッケージ」の贈呈など

地域

災害対策費



1,066万円

洪水ハザードマップ見直し業務、防災士資格取得補助など

令和2年第1回芳賀町議会定例会提出議案



同意

□芳賀町固定資産評価審査委員会委員の選任について

杉田仁氏の後任として、綱川文世氏（八ツ木）を最適任者として選任することを議員全員が同意しました。



▲綱川文世氏

□人権擁護委員の候補者の推薦について

令和2年6月30日付けをもって任期満了となる荒井俊夫氏（西水沼）を引き続き最適任者として法務大臣に推薦することを議員全員が同意しました。



▲荒井俊夫氏

条例改正

□芳賀町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について

地方公務員法の改正により、令和2年度から新設される会計年度任用職員もサービスの宣誓の対象となることから条例を改正するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

人口減少や勤務形態の変化等により、出動人員不足などが懸念されている消防団において、火災や災害など有事の際のみ出動する「機能別団員」の導入を行うため、条例の一部を改正するもの。

また、法律の改正により、成年被後見人等を資格、職種などから一律に排除する規定を削除するなどの改正を行う

もの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について

「行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律」の改正に伴い、「芳賀町固定資産評価審査委員会条例」で引用している同法の題名を

「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律」に改めるほか、関係する条文を整備するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□監査委員に関する条例の一部改正について

地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町印鑑条例の一部改正について

「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴い、成年被後見人であっても意思能力を有するものは印鑑登録を行うことができるようにするため、条例の一部を改正するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

厚生労働省令の基準の一部改正に伴い、家庭的保育事業者の連携施設の確保の特例に関する規定ならびに経過措置の延長および連携施設の確保を不要とするもの。

また、建築基準法の一部改正により、耐火建築物とする基準が緩和されたが、保育施設においては耐火性能を担保する必要があることから、設置基準の改正に合わせて、条例の一部を改正するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員認定資格研修について、これまで都道府県知事が行うこととされていたところを、指定都市の長も実施できるとするため、条例の一部を改正するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町子ども子育て会議条例の一部改正について

芳賀町部課設置条例の改正に伴い、こども育成課の児童保育係が、教育委員会から町長部局に新設される子育て支援課に移行するため、条例中の教育委員会を町長に、教育委員会事務局こども育成課を子育て支援課に改めるもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町国民健康保険条例の一部改正について

地方税法の一部改正等により、芳賀町国民健康保険条例の一部を改正するもの。

主な内容は、資産割の課税を廃止するとともに、医療分の賦課限度額を3万円引き上げて61万円とするもの。

〔質疑〕 小林隆志議員

(討論なし、原案可決)

路線廃止・認定

□芳賀町道路線の廃止について

□芳賀町道路線の認定について

主要地方道宇都宮・向田線大塚工区の供用開始に伴い、町道の起点、終点に変更が生じるため、いったん町道路線を廃止し、その後、廃止した町道路線を再度認定するもの。(質疑・討論なし、原案可決)

契約変更

□委託工事契約の変更について

令和元年第3回定例会において議決した、LRT整備事業に係る道路改良等工事の契約額を6億9100万円から4億5039万3530円減額し、2億4060万6470円とし、現在実施している道路改良等工事のうち、今年度末までの完了実績に基づき、その費用を精算するもの。

〔質疑〕 北條勲議員

(討論なし、原案可決)



▲芳賀工業団地管理センター付近

補正予算

□令和元年度芳賀町一般会計補正予算(第4号)

総額に1億9652万7千円を追加し、予算総額を99億4130万2千円とするもの。

〔質疑〕 石川保議員、

中村由美子議員、

岩村治雄議員、

岡田年弘議員、

山口菊一郎議員、

小林一男議員、

大根田弘議員、

北條勲議員、

江間田信一議員、

有坂隆志議員

(討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

総額に3500万円を追加し、予算総額を19億5916万5千円とするもの。

〔質疑〕 小林一男議員

(討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

総額から25万円を減額し、予算総額を1億6757万円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第3号)

保険事業勘定の総額から132万6千円を減額し、予算総額を15億1163万8千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀工業団地排水処理センター特別会計補正予算(第1号)

総額から417万円を減額し、予算総額を5323万円とするもの。

〔質疑〕 北條勲議員

(討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

総額に367万7千円を追加し、予算総額を3億2407万7千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

総額の増減はなく、歳入予算を組み替えるもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)

総額から1億4828万4千円を減額し、予算総額を2億6471万6千円とするもの。

〔質疑〕 小林隆志議員

(討論なし、原案可決)



▲台風19号で被災した揚水機場(那須烏山市)

常任委員会予算審査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は令和2年度の予算の審査を付託され、3月9日から12日まで各課の書類審査と現地調査を行いました。

各委員会は、3月16日の本会議において意見を付して予算を認定しました。



付託内容

総務

- ・一般会計予算中、他の常任委員会の所管に属さないすべての歳入歳出

教育民生

- ・一般会計予算中、教育民生常任委員会の所管に属する歳入歳出
- ・国民健康保険特別会計予算歳入歳出
- ・後期高齢者医療特別会計予算歳入歳出
- ・介護保険特別会計予算歳入歳出

産業建設

- ・一般会計予算中、産業建設常任委員会の所管に属する歳入歳出
- ・芳賀工業団地排水処理センター特別会計予算歳入歳出
- ・公共下水道事業特別会計予算歳入歳出
- ・農業集落排水事業特別会計予算歳入歳出
- ・宅地造成事業特別会計予算歳入歳出

総務 常任委員会



委員長 大根田周平
副委員長 江間田信一
委員 小林 信二
委員 小林 俊夫

書類審査 (3月11日)

総務課、企画課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員事務局

現地調査 (3月12日)

消防詰所(2-1、2-2)、LRT軌道施工箇所(工業団地内)

審査の意見又は特に留意すべき事項

(1) 本町の交通事故の特徴をみると、昼間人口増加等に伴い田園型事故と称される交通事故が多く見受けられる。このような現状を鑑み、いかにして児童・生徒・高齢者等の交通事故を無くするかということが、喫緊の課題となっている。

そこで、交通危険個所の合同点検、小・中学校付近の道路にゾーン30の指定等が有効と考察するので、警察その他関係機関・団体と連携し、安全・安心なまちづくりをさらに推進されたい。

(2) 町ではLRT事業をはじめとする大規模な事業が進行している。このような状況を踏まえ、町政の健全経営を担うためには職員の資質向上が必要不可欠であることから、SDGs(持続可能な開発目標)研修の実施など職員の服務遂行能力向上に積極的に取り組まれない。

教育民生 常任委員会



委員長 小林 一男
副委員長 岡田 年弘
委員 大根田 弘
委員 有坂 隆志
委員 中村由美子

書類審査 (3月9日、11日)

住民課、健康増進課、福祉対策課、環境対策課、こども育成課、生涯学習課

現地調査 (3月12日)

総合情報館、農業者トレーニングセンター(学童保育)、与能テニスコート、海洋センター、生涯学習センター水橋分館

審査の意見または特に留意すべき事項

- (1) 不妊治療費助成は、急速に申請が増えているが、現在期間が助成開始から通算5年となっている。治療期間が長くなる場合があることから、年齢制限にするなど、助成のあり方を再検討されたい。
- (2) 今般の新型コロナウイルス感染症の流行対策により、小中学校においてインフルエンザ流行が大幅に抑制された。今後とも咳エチケット、手洗いを通じて、子どもたちをウイルス性感染症から守るよう努められたい。
- (3) 当町の施設は総じて改修が必要な時期を迎えている。計画的修繕に努め、長寿命化に努められたい。

産業建設 常任委員会



委員長 北條 勲
副委員長 山口菊一郎
委員 小林 隆志
委員 岩村 治雄
委員 石川 保

書類審査 (3月11日)

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

現地調査 (3月12日)

天神延生橋欄干工事、三日市・芳賀第2工業団地線道路改良工事、芳賀第2工業団地造成工事、LRT工事、かしの森公園、前久保・後久保線道路改良工事

審査の意見又は特に留意すべき事項

- (1) 社会資本整備総合交付金事業飯島・上横西線道路改良工事は、地権者及び近隣利用者の多大なる協力により進められているが、この事業が長期にわたり進捗に支障をきたしていると思われる。重要幹線道路・危険個所であり、早期の完成が求められている路線であることから、この事業を町単独の事業に変えても早期の事業推進を図られたい。
- (2) ロマンの湯の利用者は年々減少傾向にある。複数の要因があるものの、特に温泉施設の差別化を図るため、魅力ある施設と付加価値を高めることが重要である。そこでサウナは顧客ニーズが高く、固定客の確保に効果的であることから、優先して改修するよう検討されたい。
- (3) 祖陽が丘の分譲については、消費税の増税等もあり、計画された販売数に至らなかった。令和2年度は目標数が販売できるよう、なお一層努力されたい。